

高金利先進国債券オープン(毎月分配型)

<愛称 月桂樹>

追加型投信/海外/債券

交付運用報告書

第160期(決算日2017年2月10日) 第161期(決算日2017年3月10日) 第162期(決算日2017年4月10日)
 第163期(決算日2017年5月10日) 第164期(決算日2017年6月12日) 第165期(決算日2017年7月10日)

作成対象期間(2017年1月11日~2017年7月10日)

第165期末(2017年7月10日)	
基準価額	5,836円
純資産総額	245,581百万円
第160期~第165期	
騰落率	1.2%
分配金(税込み)合計	240円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「高金利先進国債券オープン(毎月分配型)」は、2017年7月10日に第165期の決算を行ないました。

当ファンドは、世界の主要先進国の債券に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保および信託財産の成長をめざして運用を行なってきました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

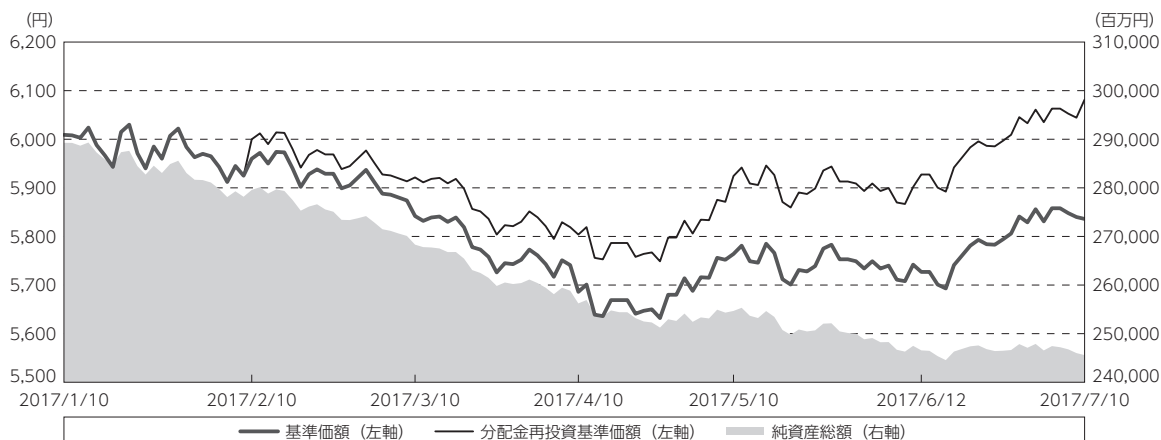
コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
 午前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2017年1月11日～2017年7月10日)



第160期首：6,009円

第165期末：5,836円 (既払分配金(税込み)：240円)

騰落率：1.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2017年1月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、世界の主要先進国の債券に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保および信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・保有債券からインカム収入を得たこと。
- ・一部の投資対象国の国債利回りが期間の初めと比べて低下(債券価格は上昇)したこと。
- ・投資対象国の通貨が対円で上昇したこと(オーストラリアドル、ニュージーランドドル、カナダドル、ノルウェークローネ)。

<値下がり要因>

- ・一部の投資対象国の国債利回りが期間の初めと比べて上昇(債券価格は下落)したこと。
- ・投資対象国の通貨が対円で下落したこと(アメリカドル)。

1万口当たりの費用明細

(2017年1月11日～2017年7月10日)

項 目	第160期～第165期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	24 円	0.411 %	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(4)	(0.071)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(19)	(0.321)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.019)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.003	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	24	0.414	
作成期間の平均基準価額は、5,825円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

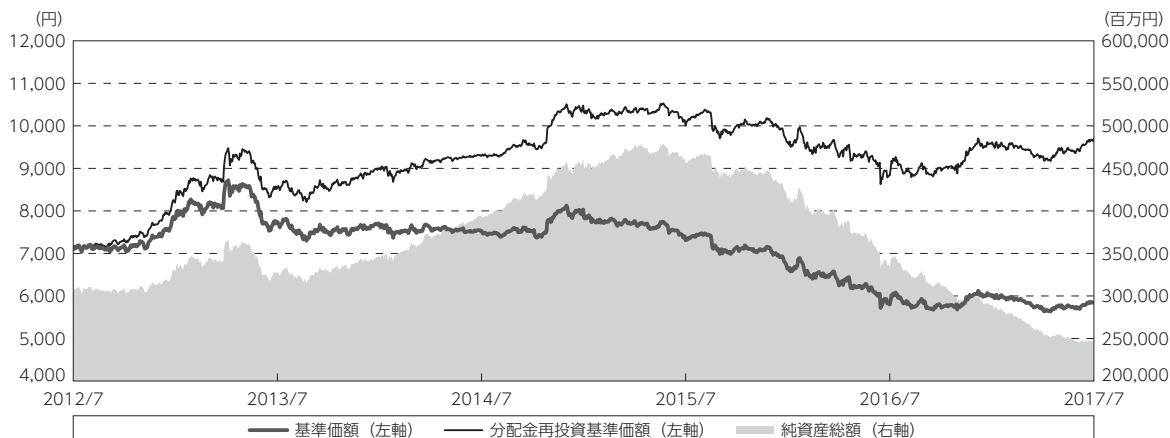
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2012年7月10日～2017年7月10日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2012年7月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2012年7月10日 決算日	2013年7月10日 決算日	2014年7月10日 決算日	2015年7月10日 決算日	2016年7月11日 決算日	2017年7月10日 決算日
基準価額 (円)	7,128	7,704	7,488	7,317	5,797	5,836
期間分配金合計(税込み) (円)	—	840	840	780	660	510
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	20.5	8.6	8.2	△ 12.5	9.8
純資産総額 (百万円)	308,104	326,854	392,866	456,482	333,391	245,581

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2017年1月11日～2017年7月10日)

(債券市況)

期間の初めから2017年3月前半にかけては、米国新政権発足後の政策運営への不透明感が強まったことが利回りの低下要因となったものの、欧州域内でインフレ圧力が増しつつある兆候が見られたことや、米国で3月の利上げ観測が高まったことなどを受けて、投資対象国の10年国債利回りは総じて上昇しました。3月後半から6月にかけては、フランス大統領選挙の結果を受けて欧州連合（EU）の混乱が回避されるとの期待が高まったことなどから、投資家のリスク回避姿勢が弱まった一方、米国で3月の利上げ決定後に今後の利上げペースの加速が示唆されなかったことや、シリアや北朝鮮情勢の緊迫化や米国防権とロシアとの不透明な関係への疑惑から米国政治の停滞が懸念されたことなどを背景に投資家の安全資産への逃避需要が強まり、各国の10年国債利回りは総じて低下しました。期間末にかけては、欧州、イギリス、カナダの中央銀行の金融緩和姿勢が後退したことなどを背景に、各国の10年国債利回りは上昇しました。

(国内短期金利市況)

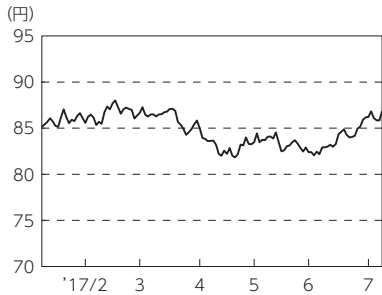
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.04%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.05%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.35%近辺から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.09%近辺で期間末を迎えました。

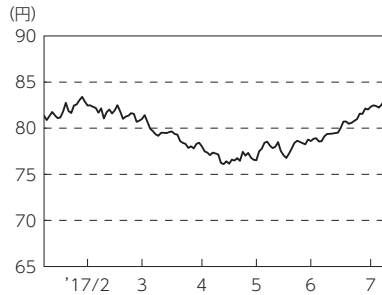
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

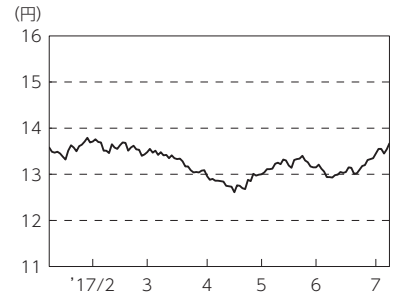
円／オーストラリアドルの推移



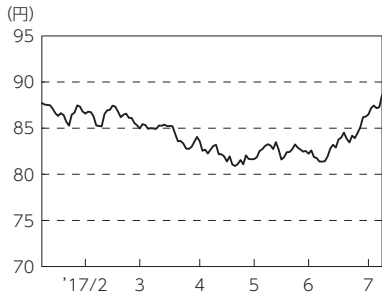
円／ニュージーランドドルの推移



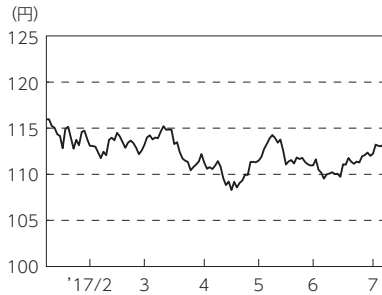
円／ノルウェークローネの推移



円／カナダドルの推移



円／アメリカドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2017年1月11日～2017年7月10日)

(当ファンド)

2016年12月の約款変更に伴ない、「高金利先進国債券マザーファンド」受益証券から「高利回り先進国債券ファンド クラスA」円建受益証券への入替えを順次行ないました。「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資は抑制しました。

(高金利先進国債券マザーファンド)**(高利回り先進国債券ファンド クラスA)**

期間中、投資対象国（通貨ベース）の入替えは行ないませんでした。通貨の相対パフォーマンスの変化を捉えて国別配分の調整を行ない、ノルウェーの組入比率を引き下げた一方、アメリカの組入比率を引き上げました。

ポートフォリオ全体のデュレーション(金利感応度)に留意しながら国ごとのデュレーションを調整し、ファンドのリターンを最大化に努めました。総じて、アメリカのデュレーションを短めとし、他の投資対象国のデュレーションをやや長めとすることをめざしました。

(マネー・オープン・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2017年1月11日～2017年7月10日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2017年1月11日～2017年7月10日)

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第160期	第161期	第162期	第163期	第164期	第165期
	2017年1月11日～ 2017年2月10日	2017年2月11日～ 2017年3月10日	2017年3月11日～ 2017年4月10日	2017年4月11日～ 2017年5月10日	2017年5月11日～ 2017年6月12日	2017年6月13日～ 2017年7月10日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
(対基準価額比率)	0.667%	0.680%	0.699%	0.689%	0.694%	0.681%
当期の収益	14	12	40	40	40	40
当期の収益以外	25	27	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	237	210	213	217	217	221

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「高利回り先進国債券ファンド クラスA」円建受益証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(高利回り先進国債券ファンド クラスA)

原則として、各国の金利水準、信用力、財政状況などのファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を考慮して投資を行なう方針です。債券市況、為替市況、各国のファンダメンタルズなどの変化にあわせて、投資比率並びに投資対象国（通貨ベース）およびポートフォリオのデュレーションの変更などを柔軟に検討する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・オープン・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2017年1月11日から2017年7月10日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

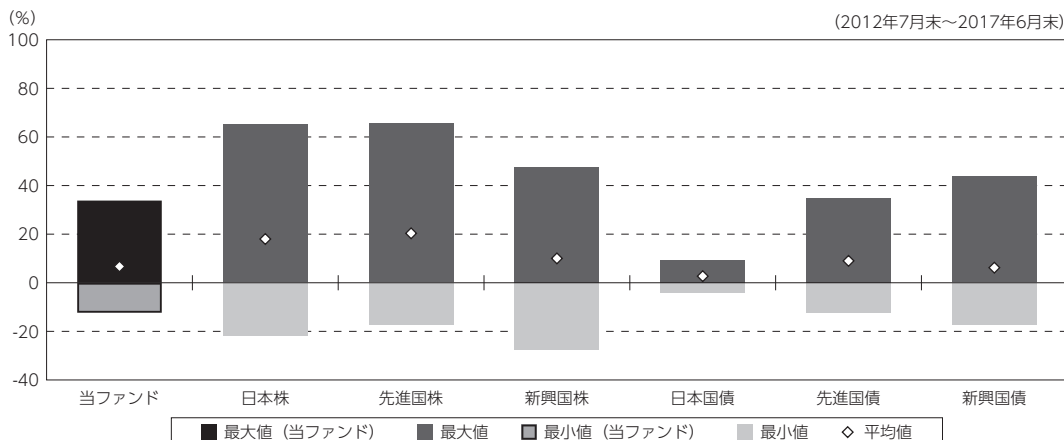
当ファンドについて、投資対象とする投資信託証券から証券投資信託「高金利先進国債券マザーファンド」を削除すべく、2017年4月11日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。これに伴ない、当該マザーファンドの運用指図権限の委託に係る費用に関する記載もあわせて削除いたしました。（第43条、付表）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2003年8月5日から原則無期限です。
運用方針	主として、ソブリン債（国債、州政府債、政府保証債、政府機関債、国際機関債などをいいます。）や社債などを主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「高利回り先進国債券ファンド クラスA」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	経済協力開発機構（OECD）加盟国の中から信用力が高く、金利水準が相対的に高い国の公社債に投資を行ないます。投資対象通貨は、必要に応じて適宜見直します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行ないません。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	33.8	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△ 12.3	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	6.7	18.0	20.3	10.0	2.7	9.0	6.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2012年7月から2017年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2017年7月10日現在)

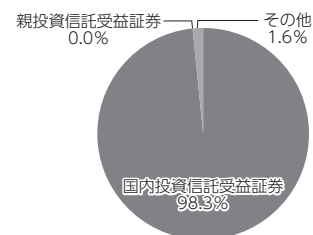
○組入上位ファンド

銘柄名	第165期末
	%
高利回り先進国債券ファンド クラスA	98.3
マネー・オープン・マザーファンド	0.0
組入銘柄数	2銘柄

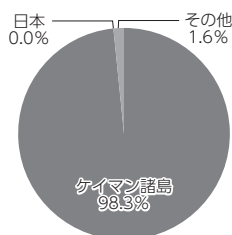
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

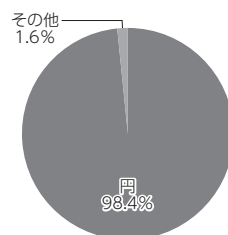
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第160期末	第161期末	第162期末	第163期末	第164期末	第165期末
	2017年2月10日	2017年3月10日	2017年4月10日	2017年5月10日	2017年6月12日	2017年7月10日
純資産総額	279,572,318,317円	268,311,087,104円	256,222,297,713円	254,672,308,269円	246,560,412,237円	245,581,903,204円
受益権総口数	469,114,234,780口	459,311,166,864口	450,634,569,862口	441,803,027,309口	430,549,785,416口	420,773,797,112口
1万口当たり基準価額	5,960円	5,842円	5,686円	5,764円	5,727円	5,836円

(注) 当作成期間（第160期～第165期）中における追加設定元本額は6,177,173,729円、同解約元本額は66,789,747,695円です。

組入上位ファンドの概要

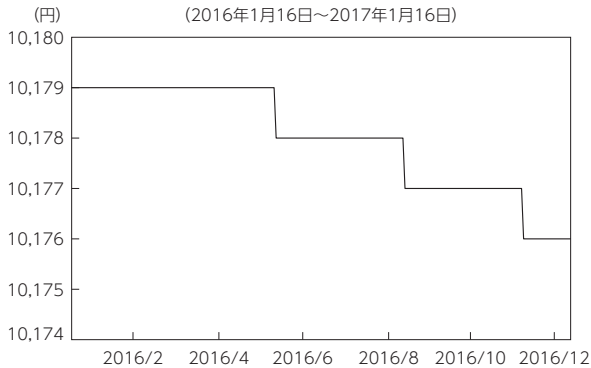
高利回り先進国債券ファンド クラスA

当運用報告書作成時点において、開示できる情報はございません。

マネー・オープン・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2016年1月16日～2017年1月16日)



【1万口当たりの費用明細】

(2016年1月16日～2017年1月16日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	0	0.000

期中の平均基準価額は、10,178円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2017年1月16日現在)

2017年1月16日現在、有価証券等の組入れはございません。